



平成 17 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 17 年 2 月 3 日

上場会社名 **東ソ一株式会社**

(コード番号: 4042 東証第1部)

(URL <http://www.tosoh.co.jp>)

代 表 者 代表取締役社長 土屋 隆

問合せ先責任者 取締役 経営管理室長 石川 克美

TEL (03) 5427 - 5123

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 法人税等の計上基準等に一部簡便的な手続きを用いております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結 (新規) 1 社 (除外) 7 社 持分法 (新規) 0 社 (除外) 1 社

2. 平成 17 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	424,765	24.3	40,039	167.2	38,439	284.8	22,764	223.3
16年3月期第3四半期	341,608	-	14,987	-	9,990	-	7,041	-
(参考)16年3月期	484,388		30,054		25,372		7,296	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	38	07	-	-
16年3月期第3四半期	11	77	-	-
(参考)16年3月期	11	96	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	610,747	120,653	19.8	201 78
16年3月期第3四半期	561,946	99,424	17.7	166 20
(参考)16年3月期	549,212	99,237	18.1	165 67

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	15,491	25,497	13,761	20,671
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	33,920	19,515	18,401	16,949

(注) 連結キャッシュ・フローにつきましては、当該四半期より第 3 四半期財務・業績の開示を行っているため、前年同四半期実績につきましては記載しておりません。

【参考】

平成 17 年 3 月期の連結業績予想 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日)

平成 16 年 11 月 5 日発表の業績予想に変更はありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	580,000	48,000	26,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 43 円 48 銭

通期予想営業利益 51,000 百万円

上記の予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

【 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等 】

当第3四半期(平成16年4月1日～平成16年12月31日)のわが国経済は、期の後半より減速傾向を示しましたが、輸出及び民間設備投資の伸びなどを背景に企業収益が改善し、また個人消費も持ち直すなど、景気は緩やかながらも回復を続けました。

化学業界を取り巻く環境につきましては、中国を中心としたアジアの旺盛な需要を背景に石油化学製品の出荷が増加するとともに、海外市況の上昇や塩化ビニル樹脂等の国内販売価格の是正も進展したため、原燃料価格は急激に上昇しましたが、概ね良好でありました。

このような情勢の下で、当社グループは販売数量の拡大、製品価格の維持・是正、更なる事業基盤の強化、経営の合理化に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、塩化ビニルモノマーを始めとする主要製品の海外市況の上昇、機能商品の出荷が全般的に好調であったこと等から、売上高は4,247億65百万円と前年同期に比べ831億57百万円の増収、経常利益は384億39百万円と前年同期に比べ284億49百万円、当期純利益は227億64百万円と前年同期に比べ157億23百万円とそれぞれ大幅な増益となりました。

当第3四半期の事業別の概況は次のとおりです。

石油化学事業

オレフィン製品は、エチレン、プロピレンやベンゼンを始めとした各留分及びその誘導品が、堅調な中国、米国需要に支えられて好調に推移した結果、出荷は好調に推移いたしました。市況につきましては、原料ナフサ価格の高騰や各留分のタイトバランスを反映して、ベンゼン誘導品のキュメンやスチレンモノマーの海外市況が大幅に上昇し、各製品の国内価格につきましては値上げを実施いたしました。

ポリエチレンは、旺盛な需要により国内外ともに出荷が増加し、価格は国内において値上げを行い、また海外市況も上昇いたしました。クロロプレンゴムは、特に中国向けを中心とした輸出が好調であり、また国内出荷も自動車向けを中心として堅調に推移いたしました。また、価格につきましては、順次値上げを実施しております。PPS樹脂は、電子部品需要の拡大により、電機・電子分野及び自動車分野向けに国内出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ301億86百万円(29.2%)増加し1,336億10百万円となり、営業利益も前年同期に比べ63億34百万円(413.4%)増加し78億66百万円となりました。

基礎原料事業

苛性ソーダは、国内外ともに出荷が堅調に推移し、市況は国内価格の値上げが浸透したことにより上昇いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、市況については国内価格の値上げが浸透し海外市況も中国ユーザーを中心とした旺盛な需要を反映して上昇しましたが、出荷は定期修繕の実施や台風の影響により輸出が減少いたしました。また、前年度末よりプラス・テク株式会社及びフィリピン・レジンス・インダストリーズ、Inc. が連結子会社となりました。

セメントは、輸出は堅調であったものの、国内出荷は引き続き低調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ 251 億 26 百万円(24.7%)増加し 1,269 億 48 百万円となり、営業利益も前年同期に比べ 92 億 45 百万円(210.4%)増加し 136 億 40 百万円となりました。

機能商品事業

エチレンアミンは、国内及びアジア地域の旺盛な需要を背景に販売数量が増加するとともに、需給バランスのタイト化により国内外ともに値上げを実施いたしました。臭素系難燃剤は、国内需要の増加により出荷が伸びました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が堅調に推移いたしました。診断関連商品は、全自動エンザイムイムノアッセイ装置の新機種及び診断試薬の出荷が増加いたしました。

ジルコニアは、電子部品などの超微粉体原料の製造に用いられる粉砕ボールを始めとして、国内外ともに出荷が増加いたしました。電解二酸化マンガンは、アジア向けを中心に輸出が大幅に増加いたしました。ハイシリカゼオライトは、自動車の排ガス浄化触媒を始めとして出荷が堅調に推移いたしました。

スパッタリングターゲット、石英ガラスなど電子材料は、主要市場である半導体・液晶等 IT 産業の活況により、出荷は好調に推移いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ 226 億 15 百万円(20.8%)増加し 1,312 億 5 百万円となり、営業利益も前年同期に比べ 82 億 4 百万円(100.8%)増加し 163 億 45 百万円となりました。

サービス事業

建設・分析・物流関連の子会社業績が堅調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ 52 億 29 百万円(18.8%)増加し 330 億円となり、営業利益も前年同期に比べ 12 億 67 百万円(137.9%)増加し 21 億 87 百万円となりました。

【 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等 】

総資産は、売上高の増加に伴う売上債権、棚卸資産の増加、塩化ビニルモノマーやアニリン製造設備への投資による固定資産の増加等の結果、前連結会計年度末に比べ、615億34百万円増加し、6,107億47百万円となりました。

負債は、設備投資のための資金調達等により借入金が増加した結果、前連結会計年度末に比べ385億38百万円増加し、4,672億12百万円となりました。

株主資本は四半期純利益を計上した結果、前連結会計年度末に比べ214億15百万円増加し、1,206億53百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて37億21百万円増加して、206億71百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が387億28百万円ありましたが、棚卸資産の増加、法人税等の支払いなどにより154億91百万円の収入に留まりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより254億97百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、設備資金の借入が増加したことなどにより137億61百万円の収入となりました。

要約連結財務諸表

(1) 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日		前年同四半期 自平成15年4月1日 至平成15年12月31日		増 減		前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売上高	424,765	100.0	341,608	100.0	83,157	24.3	484,388	100.0
売上原価	322,107	75.8					372,968	77.0
売上総利益	102,657	24.2					111,419	23.0
販売費及び一般管理費	62,617	14.7					81,365	16.8
営業利益	40,039	9.4	14,987	4.4	25,052	167.2	30,054	6.2
営業外収益	2,592	0.6					5,204	1.1
受取利息及び受取配当金	620						509	
持分法による投資利益	479						-	
その他営業外収益	1,493						4,695	
営業外費用	4,193	1.0					9,886	2.0
支払利息	3,114						4,624	
持分法による投資損失	-						1,004	
その他営業外費用	1,078						4,256	
経常利益	38,439	9.1	9,990	2.9	28,449	284.8	25,372	5.2
特別利益	2,739	0.6	3,874	1.1	1,134	29.3	5,477	1.1
特別損失	2,450	0.6	992	0.3	1,458	147.0	14,457	3.0
税金等調整前 四半期(当期)純利益	38,728	9.1	12,872	3.8	25,856	200.9	16,393	3.4
法人税等	14,285	3.4	6,474	1.9	7,811	120.7	8,315	1.7
少数株主利益 または損失()	1,678	0.4	643	0.2	2,321	361.0	781	0.2
四半期(当期)純利益	22,764	5.4	7,041	2.1	15,723	223.3	7,296	1.5

(注) 前年同四半期の売上原価、売上総利益、販売費及び一般管理費、営業外収益、営業外費用については、区分していないため、数値、増減とも記載を省略しております。

(2) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		前連結会計年度		増減	前年同四半期	
	当第3四半期 平成16年12月31日現在		平成16年3月31日現在			平成15年12月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	構成比
(資産の部)							
流動資産	286,283	46.9	235,227	42.8	51,055	241,098	42.9
現金及び預金	21,451		17,244		4,207	22,004	
受取手形及び売掛金	155,498		133,724		21,774	125,881	
棚卸資産	91,849		68,933		22,915	75,514	
その他	17,483		15,325		2,158	17,698	
固定資産	324,464	53.1	313,985	57.2	10,478	320,848	57.1
有形固定資産	243,672		235,714		7,957	244,616	
無形固定資産	6,806		7,695		889	6,314	
投資その他の資産	73,984		70,574		3,410	69,916	
資産合計	610,747	100.0	549,212	100.0	61,534	561,946	100.0
(負債の部)							
流動負債	296,965	48.6	262,541	47.8	34,424	283,091	50.4
支払手形及び買掛金	91,371		72,567		18,803	65,728	
短期借入金	162,319		148,678		13,640	168,479	
一年以内償還転換社債	-		-		-	9,864	
その他	43,274		41,294		1,980	39,019	
固定負債	170,247	27.9	166,132	30.2	4,114	160,116	28.5
社債	32,000		32,000		-	32,000	
長期借入金	112,568		108,418		4,149	102,602	
退職給付引当金	20,089		21,969		1,879	-	
その他	5,588		3,744		1,844	25,514	
負債合計	467,212	76.5	428,674	78.0	38,538	443,207	78.9
(少数株主持分)							
少数株主持分	22,880	3.7	21,300	3.9	1,579	19,315	3.4
(資本の部)							
資本金	40,633	6.7	40,633	7.4	-	40,633	7.2
資本剰余金	29,726	4.9	29,725	5.4	1	29,727	5.3
利益剰余金	51,043	8.4	31,774	5.8	19,268	31,965	5.7
其他有価証券評価差額金	5,132	0.8	3,728	0.7	1,403	-	-
為替換算調整勘定	4,897	0.8	5,721	1.0	823	-	-
自己株式	985	0.2	904	0.2	81	-	-
その他	-	-	-	-	-	2,901	0.5
資本合計	120,653	19.8	99,237	18.1	21,415	99,424	17.7
負債、少数株主持分及び資本合計	610,747	100.0	549,212	100.0	61,534	561,946	100.0

(注) 前年同四半期の其他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定、自己株式については、区分していないため、その他にまとめて記載しております。

(3) 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第3四半期 自平成16年4月1日 至平成16年12月31日	前連結会計年度 自平成15年4月1日 至平成16年3月31日
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		38,728	16,393
減価償却費		17,485	24,539
売上債権の減少額 (増加額)		21,201	5,564
棚卸資産の減少額 (増加額)		22,621	3,337
仕入債務の増加額 (減少額)		18,504	3,654
法人税等の支払額		11,759	6,940
その他		3,644	5,176
営業活動によるキャッシュ・フロー		15,491	33,920
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出		27,867	20,280
固定資産の売却による収入		4,458	753
その他		2,088	11
投資活動によるキャッシュ・フロー		25,497	19,515
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金・社債の純増加額 (純減少額)		17,321	15,152
配当金の支払額		2,998	3,003
その他		561	245
財務活動によるキャッシュ・フロー		13,761	18,401
現金及び現金同等物に係る換算差額		11	163
現金及び現金同等物の増加額 (減少額)		3,745	4,159
現金及び現金同等物の期首残高		16,949	21,100
新規連結・連結除外等に伴う現金 及び現金同等物の増加額 (減少額)		23	8
現金及び現金同等物の期末残高		20,671	16,949

(4) 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期 (平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(単位：百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	133,610	126,948	131,205	33,000	424,765
営業費用	125,743	113,308	114,859	30,813	384,725
営業利益	7,866	13,640	16,345	2,187	40,039

前年同四半期 (平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(単位：百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	103,423	101,822	108,590	27,771	341,608
営業費用	101,891	97,428	100,449	26,852	326,621
営業利益	1,532	4,394	8,141	919	14,987

前連結会計年度 (平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位：百万円)

	石油化学	基礎原料	機能商品	サービス	合計
売上高	139,799	138,370	164,899	41,319	484,388
営業費用	136,793	129,433	149,060	39,046	454,333
営業利益	3,005	8,937	15,839	2,272	30,054